

瑞山会会報

第26号

平成8年9月20日発行

編集発行 / 名古屋市立大学経済学部同窓会・瑞山会編集部
名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1 (名古屋市立大学経済学部内)

新学部長あいさつ

学部長に就任して

経済学部長 内藤能房



瑞山会会員の皆さん、お元気でご活躍のことと思います。私は、この4月より第17代目の経済学部長をつとめています。私が本学に赴任してきたのが昭和52年ですので、名市大で20年近く過ごしたことになります。皆さんが通常4～5年、大学院博士課程まで居ても10年程度なのに対して、私はその何倍も山の畑で暮らしてきた訳です。その分、名市大経済学部に対する愛着は人一倍強く、皆さんの誰にも負けないほどの愛校心をもって頑張りますので、ご支援のほど宜しくお願いします。

まず、母校ならびに経済学部の近況を報告しておきましょう。その第1は、本年4月に人文社会学部(山の畑)と芸術工学部(北千種キャンパス)が新設され、5学部1センターとまがりなりにも総合大学化への第一歩を踏み出したことです。市大教養部文系と市短・保短が母体となった2学部増設には本会1期生の粟野氏が担当準備室長として尽力されたことを付記しておきます。その2は、この4月より経済学部附属経済研究所が併設されたことです。研究テーマのキーワードは、「地域」、「国際」、「公共政策」の3つで、3名の教授を配して出発しています。その3は、教員の構成変化の激しさです。もう少し具体的に言うと、現在31名の講師以上のスタッフのうち、90年に降に来られた方が17名と過半数を占めています。

10年前に卒業した方でも今では顔を知らない先生の方が多ということになります。そして最後は、国際化と情報化の進展です。国際化の面ではNSW大(オーストラリア)との学生ならびに教員の相互交流と外国人研究者の長・短期の受入です。今年はたまたま重なったせいもありますが、この7月より12月までに6人の外国人招聘研究員を迎える予定です。一方、情報化では、学部研究処理室のワークステーションやパソコンの増設、さらには各研究室やゼミ室へのパソコン常備などハード的には整備されつつあると言えます。私でさえ、電子メールで連絡を取り、この原稿もパソコンに入力しているという状況です。

なお、就職の方は、この不況下でも比較的順調に決定しています(昨年実績は希望者全員決定)。これも先輩諸氏の長年の実績の賜物と感謝いたしております。

他方、経済学部の今後の課題としては、大学院体制の拡充、研究所スタッフの一層の充実、情報処理教育・研究における人的側面での整備等々、難しい問題が山積しています。一步一步、着実に前進したいと考えておりますので、同窓生各位の一層のご協力と強力を切にお願い致します。最後に、瑞山会の一層のご発展をお祈りして小文の結びとします。

「新生・名古屋市立大学」発足記念事業の開催

5学部・1センターの総合大学へ

平成8年4月から名市大は、既設の医学部、薬学部、経済学部及び看護短期大学部に加えて、新たに人文社会学部、芸術工学部及び自然科学研究教育センターを増設し、5学部・1センターを持つ総合大学として生まれ変わりました(瑞山会報25号参照)。

6月18日(火)、その新生・名古屋市立大学を記念しての事業が、大学及び祝う会実行委員会主催により、川澄キャンパスにて盛大に実施されました。

来賓として、名古屋市長、市議会議長、公立大学協会会長、愛知県立大学長など学外から約100名の方々が参列され、瑞山会からは、前田会長始め3名が出席しました。



記念事業は、まず午前11時から記念式典が医学部講堂で行われました。始めに、伊東学長から挨拶があり、続いて西尾市長始め来賓の方々から「新生・市立大学」を祝う言葉が次々と述べられました。また、式典の中で、新学部などの概要についてそれぞれの代表者から説明がなされました。

式典に続いて、「大学とは一国立・私立そして公立」という演題で、山住東京都立大学総長による記念講演が行われました。

このあと、12時45分から、医学部新研究棟(平成8年3月竣工)において、懇親会が開かれ、来賓挨拶、ビデオによる新生・市立大学の紹介などが行われ、和やかな雰囲気のうち閉会となりました。



自然科学研究教育センター設立について

3大講座制による研究教育組織

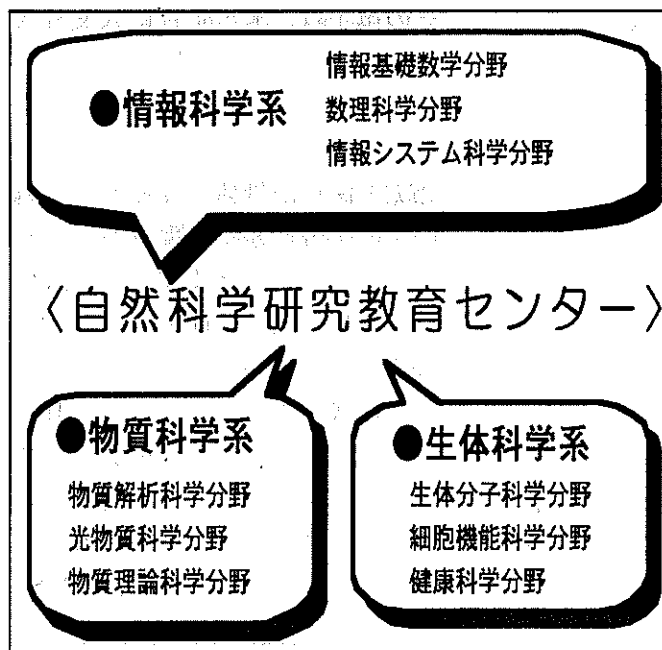
名古屋市立大学に、新たに増設された人文社会学部と芸術工学部についてそれぞれ概要を瑞山会報25号に掲載しましたが、今回は、同時に発足した「自然科学研究教育センター」について紹介します。

このセンターは、教養部が改組されたのにもない、旧教養部の数学、物理、化学、生物及び健康スポーツ科学の教員と計算センターの教員を中心として平成8年4月1日に設立されました。

このセンターは、本学の自然科学及び情報科学領域の研究・教育を行うとともに、医学部・薬学部・経済学部・人文社会学部・芸術工学部との有機的な連携のもとに、高度情報社会に適応でき、複雑化した国際社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

研究教育組織としては、従来の学科制ではなく、情報科学系、物質科学系及び生体科学系の3大講座制を採っており、各講座はそれぞれ3つの分野から成り立っています。

また、教育面では全学の教養教育のうち、自然科学、健康科学及び情報科学分野を担当することになっています。



平成8年3月卒業学生の就職等状況一覽

建設業 5(2)	卸売・小売業 20(8)	その他 6(2)	公務 20(11)
鹿島建設 1(0) 西松建設 1(0) 三井建設 2(1) 旭化成ホーム 1(1)	卸売業 14(7) 三井物産 1(0) 日本紙パルプ 2(0) 阪和興業 1(0) 日通商 1(0) 興和 1(0) 花岡中果 1(1) 紅古屋青果 1(0) 丸協青果 1(1) 愛知リコー 1(1) 福井ゼロックス 1(1) 伊藤忠燃料 1(1) 第一興商 1(1)	日立クレジット 1(0) ジャックス 2(1) ミリオンカード 1(0) 武富士 1(1) 東日本建設業振興 1(0)	国家事務 5(4) 国税専門官 2(1) 法務省 1(1) 労働省 1(1) 防衛庁 1(1)
製造業 35(5)	興和 1(0) 花岡中果 1(1) 紅古屋青果 1(0) 丸協青果 1(1) 愛知リコー 1(1) 福井ゼロックス 1(1) 伊藤忠燃料 1(1) 第一興商 1(1)	不動産 1(1) 住友不動産販売 1(1)	地方事務 15(7) 愛知県庁 1(1) 岐阜県庁 1(0) 愛知県警 1(0) 静岡県警 1(1) 名古屋市役所 6(3) 小牧市役所 1(0) 多治見市役所 1(1) 土岐市役所 1(0) 七宝町役場 1(0) 穂積町役場 1(1)
出版印刷業 1(0)	小売業 6(2) 松坂屋 1(0) 名古屋三越 1(0) ダイエー 1(1) パロー 2(1) セゾン 1(0)	運輸 4(2) 南國交通 1(0) 東山 1(1) 東山観光サービス 2(1)	
小学館 1(0)		通信 7(1) N T T 7(1)	
化学工業 6(1) 塩野義製薬 1(0) 積水化学工業 1(0) 日建産業 1(1) 二村化学工業 1(0) ニデック 1(0) 日本ペイント 1(0)		電気・ガス・水道 2(1) 中部電力 2(1) 非営利団体 16(2)	備考 (注) I()内数字は、女子の内数を示す。 II本表は、進路届・就職内定届に基づき自己申告により作成した。 III従って、進路希望調査時に於いて自営・進学・留学・帰国・国家試験等に分類した。
一般機械器具 1(0)	金融保険業 54(16) 銀行・信託業 26(3) 第一勧業銀行 2(1) 三和銀行 1(0) あさひ銀行 1(0) 東海銀行 4(1) 十六銀行 2(1) 大垣共立銀行 4(0) 百五銀行 1(0) 北国銀行 1(0) 愛知銀行 2(0) 名古屋銀行 1(0) 中京銀行 2(0) 岡崎信用金庫 2(0) 岐阜信用金庫 1(0) 高山信用金庫 1(0) 飯田信用金庫 1(0)	国民金融公庫 3(0) 住宅・都市整備公団 3(0) 全国農業協同組合連合会 1(0) 全国信用金庫連合会 1(0) 建設物価調査会 1(0) 名古屋証券取引所 1(0) 愛知県信用保証協会 2(0) 名古屋商工会議所 1(0) 津島商工会議所 1(0) JA愛知農業連合会 1(1) 愛知青少年公園協会 1(1)	
三浦工業 1(0)		サービス業 22(14) 医療保健 3(2) 医療法人明徳会成田病院 1(0) 刈谷総合病院 2(2)	
電機機械器具 8(0) 日立製作所 2(0) 松下電工 2(0) メルコラ 2(0) 京セラ 1(0) モトヤ電機 1(0)	証券・商品取引 1(0) アーク証券 1(0)	その他 19(12) NECパーソナルシステム 1(0) ベルシステム24 1(1) ダイコク電機 1(1) 東海パッキングソフトウエア 3(3) セントラルシステムズ 2(1) 三菱メカトロニクスソフトウエア 1(0) トヨタシステム・インターナショナル 1(0) エイ・エム・アイ 1(1) 日本土地評価システム 1(1) 愛三テクノロジー 1(0) 監査法人トーマツ 1(1) 株式会社インテック 1(0) 松下電器産業コンサルタント 1(1) アタラクシシステムグループ 1(1) 中田会計事務所 1(1) 吉富会計事務所 1(0)	
食品・たばこ 3(0) 明治製菓 1(0) 山崎製パン 1(0) ロッテリア 1(0)			
繊維工業 1(1)			
シンコール 1(1)			
鉄鋼業 1(0) 愛知製鋼 1(0)			
金属製品 1(0) 中野ハガネ 1(0)			
輸送用機械器具 6(2) トヨタ車体 1(1) アイシン・エイ・ダブリュ 1(0) 大同メタル 1(1) トヤマディーゼル 1(0) 青山製作所 1(0) マルヤス工業 1(0)			
精密機械器具 2(0) 富士機械製造 1(0) 愛知時計電機 1(0)			
その他 5(1) パロマ 2(0) サンクエーブル 1(0) 刈谷木材工業 1(0) シャチハタ 1(1)			

平成8年度卒業予定者数
男子 131名
女子 88名
計 219名

新しい時代を創る人と人をつなぐ “ネオ・キャリア・ネットワーク”

シリーズ

清水 ○ 本日は大変にお忙しいところ、ありがとうございます。今回の企画の主旨は、『瑞山会報』の読者が、自分のこれからのキャリアアップを考える際のヒントになるようなOBの方のお話を、順次ご紹介していこう」ということなんです。私は、まだ経済学部で4年生で、慣れないインタビューですが、よろしくお祈りします。

西川 ■ 『瑞山会報』は、いつも見えますよ。私は、塩見ゼミの第1期生で、ゼミのOB会は毎年あり、都合のつく限り出るようにしています。先日、先生から共著で出された本を戴きましたが、英語で書かれていて、私は先生のサインしか読めなくて[笑]。本当は感想も書いて、お送りしたかったのですが。

○ご卒業されてからこれまでの経歴を教えてください。

■ 私は、78年に名古屋市立大学を卒業して、株式会社リクルートに入社しました。企業の人材採用、教育の仕事をして5年間、トヨタグループから中小企業まで、200社以上担当しました。その後、住宅販売の情報に関する仕事を経て、85年、リクルートが電気通信事業に進出した際に、その事業部に配属。合計すると名古屋では10年。その後、東京に転勤し、社長秘書や企画部門で2年、90年に名古屋に戻り、人材採用、教育、組織・人事のコンサルティングを行う事業部門で、名古屋の責任者と、市販されている中途採用情報誌「Bing」「とらば一ゆ」の編集発行人をやっています。

○「Bing」「とらば一ゆ」の裏表紙の背には、西川さんの名前が出ていますね。ところで、今日のお立場になられるまで、いくつかのステップがあったと思うのですが、その際に、西川さんはどんな事実を見て、何を大切にしたらされたのかという事についてお伺いしたいのですが。

■ 学生時代は、アルバイトばかりやって留年もしたダメな学生でしたから、いよいよ、卒業と言うことになったら、「ビジネスの世界で成功してやる」という、今から振り返るとしようもないハングリー精神が、自分を奮い立たせるエネルギーになっていましたね。しかし、リクルートに入ってから、仕事から、ビジネスの世界で成功されている企業の経営者、役員、人事担当者にお会いする機会に恵まれ、彼らから「自

分の成功ではなく、人のお役に立つという事を常に考えていないと、ビジネスを長く続けることはできない」ということを教えられました。名古屋にはオーナー企業が多く、お客様はあまり動かないのですが、リクルートの営業マンの方は、人事異動で動くんですね。引継ぎのご挨拶に私がお伺いすると、「あの時のリクルートの○さんは、よくやってくれた」と、10年も15年も前の先輩のいい仕事の話をしていただけるんです。私も、末永くお客さんに喜んで、語っていただけるような、10年、20年たってもはずかしくない仕事、いい仕事をしたいと本当に思いましたね。これが入社1年目の体験です。リクルートは、メーカーのように、モノ自体に価値や信用を託すことができない仕事です。どんなに努力して求人広告を企画しても、結果としていい人材の採用に失敗すれば、お客様にとっては、ただの紙屑ですから。広告ソフトや採用ノウハウ、アフターケアで、お客様に信頼を持続していくのは、本当に大変でした。

○ここまで順調に、こられたのですか？

■ もちろん、失敗は、たくさんありました。そんな時、上司に相談しますよね。しかし、上司は、「西川、おまえが、社長だったら、どうするんだ？」という問いかけを私にするだけなんです。リクルートは、「社員皆経営者主義」を掲げていますが、私は、日常のあらゆる場面で、例えば、営業から代金回収やクレームの際に、上司から、この視点をたたき込まれました。ですから、よ

い顧客、よい上司に恵まれ、仕事を覚えるような早い時期から、「自分の仕事は、自分の責任において、考え、判断し、行動し、顧客の満足のうちきっちりと完結させる」体験を重ねることができたんです。そういう意味で、いい出会いがあり、いい仕事のできる会社に入ったと、本当に感謝しています。

○現在は、名古屋の人材総合サービス事業部の責任者をされていますが、今のお仕事では何を大切にされていますか？

■ リクルートの経営理念である、「新しい情報価値の創造によって生活者を豊かにすること」です。人間の働・住・学・遊・結婚など、ライフステージの各々の場面において、生活者に、より多くの選択肢を提供し、そのベストマッチングに貢献するという事です。例えば、仕事上で広告を掲載する企業か、情報を受け取る生活者か、どちらを優先するのか？と問われれば、迷わず生活者を優先するという事です。なぜならば、情報を受け取る生活者の側に立っていないようなメディア事業は、長くは続かず、結局は、広告を掲載する企業からの信頼も失うことになると思うからです。私と企業との関係は、イコール・パートナーだと考えています。ですから私は、経営理念を実現したいリクルートの経営者の立場と、お客様の経営者の立場と、読者の立場と、常にそれぞれ3つの視界に立って事実を見ることを、大切にしていきたいと思っています。

○企業と生活者の両方が、西川さんの事業の大切なお客様ということですね。

■ そうです。私は、早い時期から、会社の方針を、そう理解できましたから、業績を上げる努力することは必要ですが、目先の利益にとらわれず、長い目で見て顧客との信頼関係、人間関係を続けられるような仕事を重ねたいと考えられるようになったのです。また、生活者に目を向けると、「Bing」の読者の中には、大企業で働きたい人もいれば、家族的な雰囲気が好きという人もいます。美容師の資格を活かしたい、喫茶店を営みたい人もいれば、福祉の仕事や、無償のボランティアに参加したい人もいます。仕事の種類も、働き方のかたちも様々です。就職に限らず、一人一人の生活者が、自分の「したい」を大切に、自己実現するための情報を求めています。こういう生活者の事実をよく見ないと、情報メディアというものは成立しないと思います。そのため、会



第1回 西川健一 さん [第11期生]

(株式会社リクルート 名古屋人材総合営業事業部 エグゼクティブ・マネージャー)

社に入ってからの20代は、本当に勉強もしましたし、営業の現場でも、がむしゃらにがんばりました。私は、最近、企業とのイコールパートナーとしての関係だけでなく、私の上司や、同僚、部下、協力会社に到るまで、共に協力して働く一人一人や、読者の一人一人とも、お互いが自立的で対等なパートナーとして協力できる関係でありたいと考えています。これまでの私が、周囲の人とのパートナーシップの中で、本当にがんばることができたからです。ただ、家族に対しては、反省が残りますが。

○目がうるうるするような、いいお話ですね。今、西川さんは40代になられたばかりですが、これからの人生のステップを考えるに当たり、今後の抱負やビジョンをお聞かせください。

■35歳になった時、ふと、人生の折り返し点に来たんだと感じました。自分はなぜ生きてきたのか？ 今後、自分はどのようにしていくのか、このままでいいのか？ 今でも考え続けているんですが、「自分の存在を喜ばれたときが一番うれしい。一人でも多くの人を、少しでも幸せにできるような人生を歩もう」と思えるようになってきました。私が、影響を受けた企業の経営者の方々から学んだことは、一人でも多くの人に「ありがとう」「よかった」と言ってもらえる生き方が、最高の人生であるということでした。それを事業として実現するのか、個人の私的な行いとして実践するのかは、大した問題ではありません。それは方法の違いであって、目的は同じだからです。どのような状況にあっても、私は、そのような生き方を大切にしたいと思っています。私のこれまでの人生は、本当に最高に幸せでした。

○私も、そんな最高の人生を送ることができるでしょうか？

■人には、平等にチャンスが与えられていると思います。しかし、それをつかまうと努力している人にしか、そのチャンスは見えない。つかめない。自分の運と才能を疑ったら一歩も前に進めないですね。ポジティブな目で、目の前の事実をよく見る。そうすると、自分が努力するしかないんです。私も、目的を持ち、日々求めていなければ、多くのチャンスを見逃してしまっただしょう。

○名古屋市立大学経済学部のOBネットワークは、現在6000人の規模になるのですが、今後、



このようなつながりを、どのように活かし、発展させていけばいいと思われませんか？

■例えば、慶応大学の三田会のように結束の強い組織もいいなあと思いますが、所属する会社や地域という境界を越えて、いろいろな志向を持つ人、いろいろな立場や役割の人が、いろいろな機会を提供し、助け合えるような集まりであればと思います。損得を越えて、ビジネスでも遊びでも、心の支えになれる関係、日常の仕事や生活とは別の集まりとして機能すれば、本当に広がりが出ていいですね。初対面でも、同じ学生生活を共有した者同志なら、早く打ち解けられますし、重荷にもならず、それぞれのいろいろな人生の局面で助け合うことができます。そんなリアルタイムで柔軟なネットワーク組織ができれば素晴らしい。40歳になると、思い出という宝もあって、自分の戻れる場所があるということの良さを感じられるようになりました。

○現役の学生や、まだ若い社会人の皆さんに対して、アドバイスをお願いします。

■縁起のよい話ではありませんが、お葬式の時に、多くの人から、「この人は〇〇な人だったな」と言われたい、〇〇を目指するような生き方をするという事です。例えば、相手から「この人は、見返りのない愛を、多くの人に注いだ人だったな」と言われたいのであれば、今、その人の、周りの人に対する接し方は、おのずと変

わってくると思います。「ありたい自分」を目指して、日々、素直に生きるということ。そして、今できること、今しかできないことを大切にしてください。しなければいけないことには、「重要なこと」と「緊急なこと」の2つがあります。「重要で緊急なこと」は、誰でも優先すると思いますが、「重要ではないが緊急なこと」に追われて、「重要だが緊急でないこと」をおざりにしない事です。自分の人生の目的に照らして「何が、今、重要なことなのか」ということを常に自らに問うてみる。人は、自分が望んだ以上のものにはなれません。ですから、できるだけ大きな「こうありたい」という目標をかけることです。常に目標に向かっていくことは、大変な努力や、時には勇気が必要ですが、若い皆さんには、まだまだ大きな人生の選択の幅一可能性がります。今、目標を掲げなくて、いつするのか？ くらいの気持ちで、自分の人生を最高のものにしてください。学生時代は基礎体力をつける場です。これから社会に出れば、今までの20年間に会った人の10倍も100倍も素晴らしい出会いがあるはず。自ら求めて、出会いを大切に、夢を大きく持ってがんばってください。

○今日は、私にとっても本当にいい出会いでした。大変に、素晴らしいお話を、ありがとうございました。

[1996年8月21日 リクルート応接室にて取材]



「桜山会」開催

昭和47年卒業生の同期会を浜松にて



遠鉄ホテルエンパイヤにて

5月18日、昭和47年卒業生で作る同期会「桜山会」を浜松の館山寺で開催しました。有志11名が多忙中にもかかわらず万難を排して集まり、二十数年前の学生生活を振り返りました。話すうちに昔の仲間の顔を思い出し、忘れかけていた青春時代を取りもどした気がしました。次回は八木様が幹事にて、名市大保養所にて「桜山会」を開催していただける予定ですので、一人でも多くの方のご出席をお願いして会を盛り上げてゆきたいと思います。

・(幹事 4期 伊藤一正)

会員名簿について

有料化へのご協力をお願い

今まで会員名簿は3年に1回発行し、会員の皆様方に無料で配布させていただきました。しかしながら名簿発行費用が膨大(1回の発行費用が400万円程度もかかります)にかかり瑞山会の財務内容を圧迫するようになったこと、発行事務のために特定の会員の方に非常に負担がかかることを合わせ考慮した結果、この度(次回の名簿発行から)、名簿を「有料化」させていただくことに理事会で決定いたしました。会員の皆

様にはご負担をおかけすることとなりますが、何卒事情をお汲み取りいただき、よろしくご協力お願い致します。

なお会員の皆様には、支部作りの援助、OB会員の表彰等のサービスを考えておりますが、何か参考になるご意見がありましたら、おきかせください。

(瑞山会会長 前田勝昭 052-332-6086)

平成8年度瑞山会総会のご案内

通常総会兼代議員会を開催します

平成8年度瑞山会総会を右記のとおり開催致しますので、ご多忙とは存じますが代議員の皆様はもちろんのこと会員の皆様も是非御参加いただきますようお願い申し上げます。総会后楽しい懇親会が用意されています。皆様色々大変と思いますが、同窓生同士で楽しく話し合い、情報を交換しあいましょう。

- 日時……平成8年10月25日(金) PM6:30
- 会場……名鉄ニューグランドホテル
(名古屋駅新幹線西口)
- 会費……3000円
- 連絡先…八木庶務部長・052-704-5061
前田瑞山会会長・052-332-6086

事業部だより

前号の会報でご案内した通り、4月7日薬学部同窓会館を会場として、山崎川散策と茶会が行われました。ちょうど桜の見頃の上、晴天にも恵まれて素晴らしい一日となりました。4月27日には幹事西垣英昭氏のはからいで、三重県霞CCにて第27回名市大経済学部OBゴルフコンペが開催されました。優勝寺田秀正氏(1期生)、準優勝印南道孝氏(2期生)でした。次回は10月19日の予定で、開催地を三河地区で模索し、南山CCに決定しました。5月3日には第7回硬式テニスの会が開催され、優勝加藤実(6期生)夫妻、準優勝倉地弘美(14期生)今井直美組でした。9月8日には内海フォレストパークにて野外バーベキューが行われました。来年も行われますので、今後の会報記事にご留意、または瑞山会宛ご照会下さい。入場料



のみ負担していただければ、飲み放題、食べ放題です。今冬はスキーツアーも計画していますので、参加希望の方は事業部宛ご連絡下さい。

(連絡先：逸見和弘 052-914-6221)

● 3月31日退職

助教授(経済政策Ⅱ) 跡田直澄

助手(経済理論) 中原隆幸

● 4月1日採用

教授(経済理論) 程島次郎

講師(経済理論) 外谷英樹

講師(経済政策Ⅱ) 森田雄一

助手(経済政策Ⅰ) 中山健一郎

学部人事異動

● 4月1日異動

学部長(経済政策Ⅱ) 内藤能房

教授(経営・会計学) 岸志津江・助教授より

助教授(経済理論) 三澤哲也・教養部より

講師(経営・会計学) 河合篤男・助手より

事務長 近藤正臣・南区役所保険年金課より

交流会今年も11月に開催予定

学生とのOB・OG交流会にご参加ください

毎年恒例になりました「OB・OGとの交流会」(経済学部ゼミナール協議会主催)が今年も来る11月8日/金曜日(予定)に開催されることになりました。この企画は、就職を控えた現3年の学生の皆さんに、社会で活躍する先輩方と懇談する機会を提供し、目前に迫った就職活動の応援ができればという企画です。

マンモス私大と違い、情報収集の機会が少ない名市大の後輩の応援のために、ご多忙の折りかと思いますが皆さんの参加をお願い致します。

●日時…11月8日(金) 18:30位~21:00

(座談会ですので、何時からでも参加できます)

●場所…山の畑キャンパス学生会館・3階和室

●クラブ紹介●

剣道部

剣道部は主に毎週月、火、木、土曜日に活動し、特に木曜日にはコーチをお呼びして、他の日以上に緊張感を保ち、心技体の向上を目指し、稽古に励んでいます。稽古はまず、切り返しといて、一足一刀の間合(一步踏み出せば打ち込める間合)から面を打ち、そして続けざまに左右の面を前進しながら四本、後退しながら三本打った後、一足一刀の間合に戻り面を打つ稽古を行います。次に、面、小手、胴、突きの基本打ち。面、小手に対する応じ技。そして、一人は基として受け、もう一人がそれに掛っていく掛り稽古、または二人とも掛っていく相掛り稽古。更に実際の試合のように相手と打ち合う地稽古。最後に大きく切り返しをして終了。主にこれが一日の稽古です。その稽古の成果を発揮すべき試合はだいたいトーナメント形式です。公式戦以外でも定期戦、練習試合があります。

稽古、試合以外では夏は海に、冬はスキーに行ったり、その他提案があれば、参加者を募って遊びに行きます。このように我々は、稽古以外でもよく共に行動するので、皆仲良く、困った時にはお互い相談相手になったりしています。

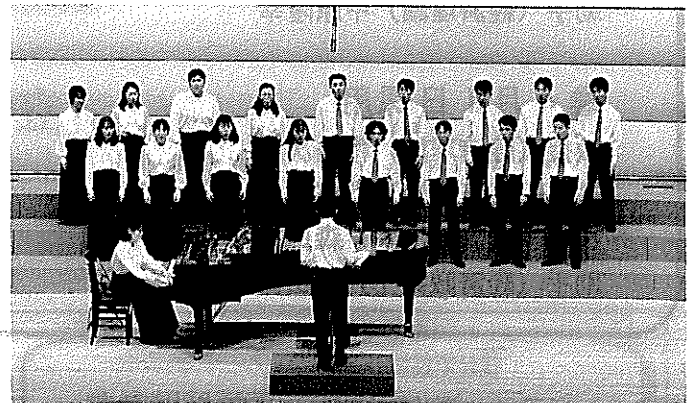
最後にこれを読んでくださった方が剣道部を少しでも理解してくだされば、これに勝る喜びはございません。



混声合唱部

私たち名古屋市立大学混声合唱団は、現在団員数35名弱。名古屋市立大学、看護短大、愛知県立大学の学生で構成されています。それぞれ異なった学校、学部の学生が集まり、学生同士の交流の場となっています。

活動は山の畑キャンパス文科系クラブハウス2階の練習室にて、毎週月、水、土に行っています。また、ハイキングやボーリングなど、数々のイベントも企画しています。今年は矢田川で催された花火大会を見に行ったりもしました。毎年夏には長野県などへ1週間の合宿に行きます。明けても暮れても練習の毎日ですが、共同生活の中で見つけるものも多くあり、充実したものとなっています。秋には老人ホーム、障害者施設等への慰問を行います。毎年12月下旬に、私たちの団の年間の活動の集大成である、定期演奏会を開催しています。今年は第36回となり、12月21日に港文化小劇場で行うことになりました。現在、演奏会に向けての準備を進めているところです。団長をはじめ団員一同、お待ちしておりますので、是非私たちの歌声を聴きにきて下さい。また、大学の方へ来られた時には是非、練習室へお立ち寄り下さい。



・ 下旬年間行事予定 ・

● 4月

第1日曜日 山崎川花見と茶会

下旬土曜日または日曜日 OBゴルフコンペ

● 5月

3日祝日 テニス大会(硬式)

● 9月

第1、または第2日曜日 野外バーベキューの集い

● 10月

土曜日 OBゴルフコンペ

27日(日) 大学祭模擬店OBコーナー

● 11月

中旬または下旬平日 3学部合同ボウリング大会

● 1月または2月

スキーツアー(未定)

● 秋(9~11月) 通常総会(兼代議員会)

● 年3~4回 理事会

● 年2回(春・秋) 瑞山会報発行